



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月4日

上場会社名 株式会社 栗本鐵工所  
 コード番号 5602 URL <http://www.kurimoto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 串田 守可  
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室長 (氏名) 大野 博史  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月4日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 06-6538-7719

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	54,838	10.2	2,080	117.4	2,138	117.4	1,415	256.8
2020年3月期第2四半期	49,785	3.6	956	69.8	983	53.1	396	126.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 2,159百万円 (381.3%) 2020年3月期第2四半期 448百万円 (37.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	116.15	
2020年3月期第2四半期	31.65	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	129,981	60,657	45.8
2020年3月期	134,216	58,876	43.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 59,577百万円 2020年3月期 57,892百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		30.00		30.00	60.00
2021年3月期		30.00			
2021年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	0.1	4,000	7.8	4,000	8.9	2,800	0.9	229.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2021年3月期2Q 30,262株、2020年3月期2Q 36,116株、2020年3月期33,189株)が含まれています。

## (4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	13,098,490 株	2020年3月期	13,098,490 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	910,305 株	2020年3月期	913,102 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	12,187,274 株	2020年3月期2Q	12,534,391 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け、依然として企業活動の停滞、個人消費の縮小など先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループとしましては、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、営業・事務部門では在宅勤務等を推奨し、工場の生産部門では、安全と健康を最優先にする対策を取った上で稼働を継続いたしました。

このような状況の中で、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、建築工事の減少などにより「産業建設資材事業」で出荷が減少しましたが、「機械システム事業」を中心に一定の受注残があったことから、「機械システム事業」「パイプシステム事業」などで出荷が増加したことにより、売上高は前第2四半期連結累計期間比5,053百万円増収の54,838百万円となりました。

損益面では、売上高増加に伴う増益に加え、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、移動を伴う営業活動を最小限に留めたことなどによる各種費用の減少も寄与し、営業損益は、前第2四半期連結累計期間比1,123百万円増益の2,080百万円の利益、経常損益は、前第2四半期連結累計期間比1,154百万円増益の2,138百万円の利益、親会社株主に帰属する四半期純損益は、法人税等を差し引き、前第2四半期連結累計期間比1,018百万円増益の1,415百万円の利益となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

「パイプシステム事業」は、売上高につきましては、鉄管部門で出荷量が増加したことに加え、バルブ部門でも民需向けで出荷が堅調に推移したことなどで、前第2四半期連結累計期間比2,231百万円増収の26,629百万円となりました。

営業損益につきましては、鉄管部門、バルブ部門の増収に加え、原価改善に注力したことなどにより、前第2四半期連結累計期間比935百万円増益の1,426百万円の利益となりました。

「機械システム事業」は、売上高につきましては、機械部門で大型物件の出荷増に加え、大型工事進行基準物件の進捗が進んだことなどにより、前第2四半期連結累計期間比3,911百万円増収の14,552百万円となりました。

営業損益につきましては、増収により増益となりましたが、機械部門の一部プラント案件において追加工事が発生したことなどにより増益幅が縮小した結果、前第2四半期連結累計期間比24百万円増益の136百万円の利益となりました。

「産業建設資材事業」は、売上高につきましては、化成品部門で電力向け、鉄道向け製品の出荷が堅調に推移しましたが、建材部門で建築工事の減少もあり空調製品を中心に出荷が減少したことなどで、前第2四半期連結累計期間比1,090百万円減収の13,656百万円となりました。

営業損益につきましては、建材部門の減収の影響がありましたが、原価改善に努め減益幅を縮小した結果、前第2四半期連結累計期間比29百万円減益の396百万円の利益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、翌四半期以降の出荷に備え、商品及び製品などが増加した反面、大型物件の完工などにより仕掛品が減少し、債権の回収時期を迎え受取手形及び売掛金、電子記録債権が減少したことで、前連結会計年度末比4,234百万円減少の129,981百万円となりました。

一方、負債におきましては、生産が一段落し、債務の支払時期を迎え支払手形及び買掛金、電子記録債務が減少したことに加え、借入金の返済が進んだことなどで、前連結会計年度末比6,015百万円減少の69,323百万円となりました。

純資産におきましては、配当金の支払い、四半期純利益の計上による利益剰余金の増減、その他有価証券評価差額金の増加などにより、前連結会計年度末比1,781百万円増加の60,657百万円となりました。

《キャッシュ・フローの状況》

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は2,762百万円となりました。これは主に売上債権の減少による資金の増加、仕入債務の減少による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は2,363百万円となりました。これは主に有形及び無形固定資産の取得による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1,651百万円となりました。これは主に短・長期借入金の返済によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による発注延期や工事進捗遅延などの可能性が考えられますが、概ね順調に推移していることから変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,388	19,119
受取手形及び売掛金	34,837	31,801
電子記録債権	6,391	5,991
商品及び製品	10,445	11,205
仕掛品	8,868	8,311
原材料及び貯蔵品	2,605	2,484
その他	1,285	1,142
貸倒引当金	△152	△106
流動資産合計	84,669	79,950
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,787	13,787
その他(純額)	19,080	19,081
有形固定資産合計	32,867	32,868
無形固定資産		
その他	1,400	1,768
無形固定資産合計	1,400	1,768
投資その他の資産		
投資有価証券	8,423	8,876
その他	7,020	6,680
貸倒引当金	△164	△162
投資その他の資産合計	15,279	15,394
固定資産合計	49,546	50,031
資産合計	134,216	129,981

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,102	16,602
電子記録債務	10,767	9,425
短期借入金	20,670	20,460
1年内返済予定の長期借入金	2,375	1,392
未払法人税等	1,258	557
賞与引当金	1,902	1,700
その他の引当金	693	1,079
その他	7,555	6,126
流動負債合計	63,325	57,343
固定負債		
長期借入金	705	651
引当金	20	20
退職給付に係る負債	10,494	10,522
その他	792	785
固定負債合計	12,013	11,980
負債合計	75,339	69,323
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	31,186	31,186
資本剰余金	6,873	6,873
利益剰余金	22,587	23,636
自己株式	△1,831	△1,826
株主資本合計	58,816	59,869
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	771	1,252
為替換算調整勘定	△4	△18
退職給付に係る調整累計額	△1,690	△1,526
その他の包括利益累計額合計	△923	△292
非支配株主持分	984	1,080
純資産合計	58,876	60,657
負債純資産合計	134,216	129,981

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	49,785	54,838
売上原価	38,136	42,411
売上総利益	11,648	12,427
販売費及び一般管理費	10,691	10,347
営業利益	956	2,080
営業外収益		
受取配当金	155	146
その他	111	130
営業外収益合計	267	276
営業外費用		
支払利息	68	72
固定資産撤去費用	49	48
その他	122	98
営業外費用合計	240	218
経常利益	983	2,138
特別利益		
固定資産売却益	—	4
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	—	6
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	1	2
その他	299	0
特別損失合計	300	2
税金等調整前四半期純利益	682	2,142
法人税、住民税及び事業税	218	480
法人税等調整額	80	133
法人税等合計	298	614
四半期純利益	384	1,527
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	112
親会社株主に帰属する四半期純利益	396	1,415

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	384	1,527
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△53	481
為替換算調整勘定	△22	△13
退職給付に係る調整額	141	163
その他の包括利益合計	64	631
四半期包括利益	448	2,159
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	461	2,046
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	112

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	682	2,142
減価償却費	1,173	1,225
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6	△47
受取利息及び受取配当金	△158	△155
支払利息	68	72
売上債権の増減額 (△は増加)	11,776	2,470
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△3,966	△85
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,752	△2,067
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	358	264
有価証券及び投資有価証券評価損益 (△は益)	209	—
有価証券及び投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
有形及び無形固定資産売却損益 (△は益)	△6	△4
有形及び無形固定資産除却損	15	2
その他	△803	△148
小計	3,591	3,665
利息及び配当金の受取額	209	206
利息の支払額	△69	△72
法人税等の支払額	△339	△1,037
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,392	2,762
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△34	△250
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	451
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,917	△2,524
有形及び無形固定資産の売却による収入	23	5
貸付金の回収による収入	0	0
その他	45	△46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,884	△2,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,235	△210
長期借入金の返済による支出	△1,056	△1,037
リース債務の返済による支出	△17	△20
自己株式の取得による支出	△0	△0
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	120	—
子会社の自己株式の処分による収入	98	—
配当金の支払額	△377	△366
非支配株主への配当金の支払額	△11	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,478	△1,651
現金及び現金同等物に係る換算差額	△20	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,991	△1,270
現金及び現金同等物の期首残高	21,507	20,330
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,516	19,060

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,397	10,640	14,747	49,785	—	49,785
セグメント間の内部売上高 又は振替高	116	103	64	285	△285	—
計	24,514	10,744	14,811	50,070	△285	49,785
セグメント利益	491	112	425	1,029	△72	956

注)1 セグメント利益の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額△127百万円及び棚卸資産の調整額47百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	パイプ システム事業	機械 システム事業	産業建設 資材事業			
売上高						
外部顧客への売上高	26,629	14,552	13,656	54,838	—	54,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	24	10	85	△85	—
計	26,680	14,576	13,667	54,924	△85	54,838
セグメント利益	1,426	136	396	1,959	120	2,080

注)1 セグメント利益の調整額120百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントが負担する販売費、一般管理費、試験研究費の配分差額129百万円及び棚卸資産の調整額△16百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。